

I 第33週の発生動向 (2015/8/10~8/16)

1. 手足口病については、上十三保健所管内で第27週から、弘前保健所管内で第28週から、八戸保健所管内で第29週から、東地方+青森市保健所管内で第31週から、むつ保健所管内で第32週から**警報**が継続しています。
2. ヘルパンギーナについては、患者報告数が前週の52人から58人に増加しました。今後の発生動向に注意が必要です。
3. レジオネラ症については、東地方+青森市保健所管内で1人の患者報告がありました。

II 第33週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、**警報・注意報**については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科																
インフルエンザ																
RSウイルス感染症			4	0.44	7	0.70			3	0.50			14	0.33	-2	
咽頭結膜熱	1	0.13	4	0.44	1	0.10					2	0.50	8	0.19	-8	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.25	3	0.33	18	1.80	1	0.20	2	0.33	2	0.50	28	0.67	-16	
感染性胃腸炎	18	2.25	7	0.78	11	1.10	10	2.00	5	0.83	8	2.00	59	1.40	-36	
水痘	1	0.13			4	0.40	1	0.20	2	0.33	1	0.25	9	0.21	4	
手足口病	63	7.88	96	10.67	89	8.90	24	4.80	150	25.00	40	10.00	462	11.00	-75	
伝染性紅斑	1	0.13			5	0.50			4	0.67	1	0.25	11	0.26	-4	
突発性発しん	9	1.13	3	0.33	4	0.40	2	0.40	3	0.50	2	0.50	23	0.55	6	
百日咳															0	
ヘルパンギーナ	17	2.13	18	2.00	2	0.20	8	1.60	6	1.00	7	1.75	58	1.38	6	
流行性耳下腺炎	3	0.38	1	0.11					2	0.33	2	0.50	8	0.19	4	
眼科																
急性出血性結膜炎															0	
流行性角結膜炎					2	1.00			1	0.50			3	0.27	-4	
基幹																
クラミジア肺炎															0	
細菌性髄膜炎	1	1.00											1	0.17	1	
マイコプラズマ肺炎												2	2.00	2	0.33	1
無菌性髄膜炎	1	1.00											1	0.17	1	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															-1	

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患):東地方+青森市1人、むつ1人(2015年計:188人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患):八戸1人、上十三1人(2015年計:41人)
- ・レジオネラ症(四類全数把握疾患):東地方+青森市1人(2015年計:1人)

IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

感染症の窓

侵襲性肺炎球菌感染症(五類全数把握疾患)

侵襲性肺炎球菌感染症は肺炎球菌(*Streptococcus pneumoniae*)による侵襲性感染症のうち、本菌が髄液又は血液から検出された感染症と定義されています。

潜伏期間は不明で、小児及び高齢者を中心とした発症が多く、小児と成人でその臨床的特徴が異なります。小児では、肺炎を伴わず、発熱のみを初期症状とした感染巣のはっきりしない菌血症例が多くみられます。また、髄膜炎は、直接発症するものの他、肺炎球菌性の中耳炎に続いて発症することがあります。成人では、発熱、咳嗽(せき)、喀痰、息切れを初期症状とした菌血症を伴う肺炎が多くみられます。髄膜炎例では、頭痛、発熱、痙攣、意識障害、髄膜刺激症状等の症状を示します。

青森県における患者の年齢は50歳代以上がほとんどです(左図)。侵襲性肺炎球菌感染症の予防にはワクチン接種が有効です。平成25年4月より5歳未満の小児、平成26年10月より65歳以上の高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンが定期接種となっています。

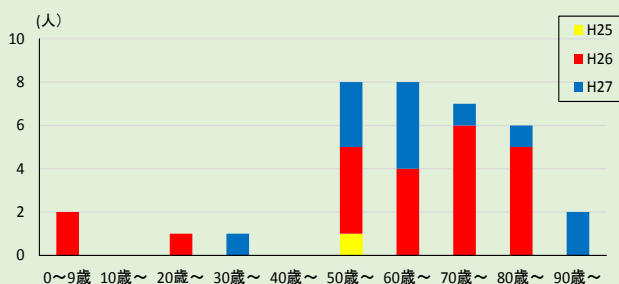


図: 青森県における年齢別患者報告数 (平成25年4月~平成27年8月)

【参考】厚生労働省 HP、国立感染症研究所 HP

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第23週～2015年第33週）

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
23	H27.6.1 ~ H27.6.7	つつが虫病1人 ウイルス性肝炎1人 侵袭性肺炎球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人			つつが虫病1人	
24	H27.6.8 ~ H27.6.14	つつが虫病2人 カルバペネム耐性腸内 細菌感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症3人 侵袭性肺炎球菌感染症 1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人			つつが虫病1人
25	H27.6.15 ~ H27.6.21		腸管出血性大腸菌 感染症3人	侵袭性肺炎球菌感染症 1人			細菌性赤痢1人
26	H27.6.22 ~ H27.6.28	腸管出血性大腸菌 感染症1人				侵袭性肺炎球菌感染症 1人	
27	H27.6.29 ~ H27.7.5	腸管出血性大腸菌 感染症12人 梅毒1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人 侵袭性肺炎球菌感染症 1人			カルバペネム耐性腸内 細菌感染症1人
28	H27.7.6 ~ H27.7.12	腸管出血性大腸菌 感染症7人	腸管出血性大腸菌 感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人			
29	H27.7.13 ~ H27.7.19		アメーバ赤痢1人	カルバペネム耐性腸内 細菌感染症1人			腸管出血性大腸菌 感染症1人
30	H27.7.20 ~ H27.7.26			カルバペネム耐性腸内 細菌感染症1人 侵袭性肺炎球菌感染症 1人 梅毒1人			
31	H27.7.27 ~ H27.8.2		急性脳炎1人		破傷風1人		
32	H27.8.3 ~ H27.8.9	腸管出血性大腸菌 感染症1人		カルバペネム耐性腸内 細菌感染症1人		腸管出血性大腸菌 感染症4人	
33	H27.8.10 ~ H27.8.16	レジオネラ症1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人	

VI 結核(二類全数把握疾患) (2015年第23週～2015年第33週)

単位：人

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
23	H27.6.1 ~ H27.6.7	2	1	4		1	
24	H27.6.8 ~ H27.6.14	3	1	1			
25	H27.6.15 ~ H27.6.21	2		1			
26	H27.6.22 ~ H27.6.28	2		3		2	
27	H27.6.29 ~ H27.7.5	2	2	2			1
28	H27.7.6 ~ H27.7.12	1		1			
29	H27.7.13 ~ H27.7.19	2		1	1	2	
30	H27.7.20 ~ H27.7.26		1	2			
31	H27.7.27 ~ H27.8.2	2	1			1	1
32	H27.8.3 ~ H27.8.9	1	2	3		1	
33	H27.8.10 ~ H27.8.16	1					1

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2015年第1週～第31週累計)

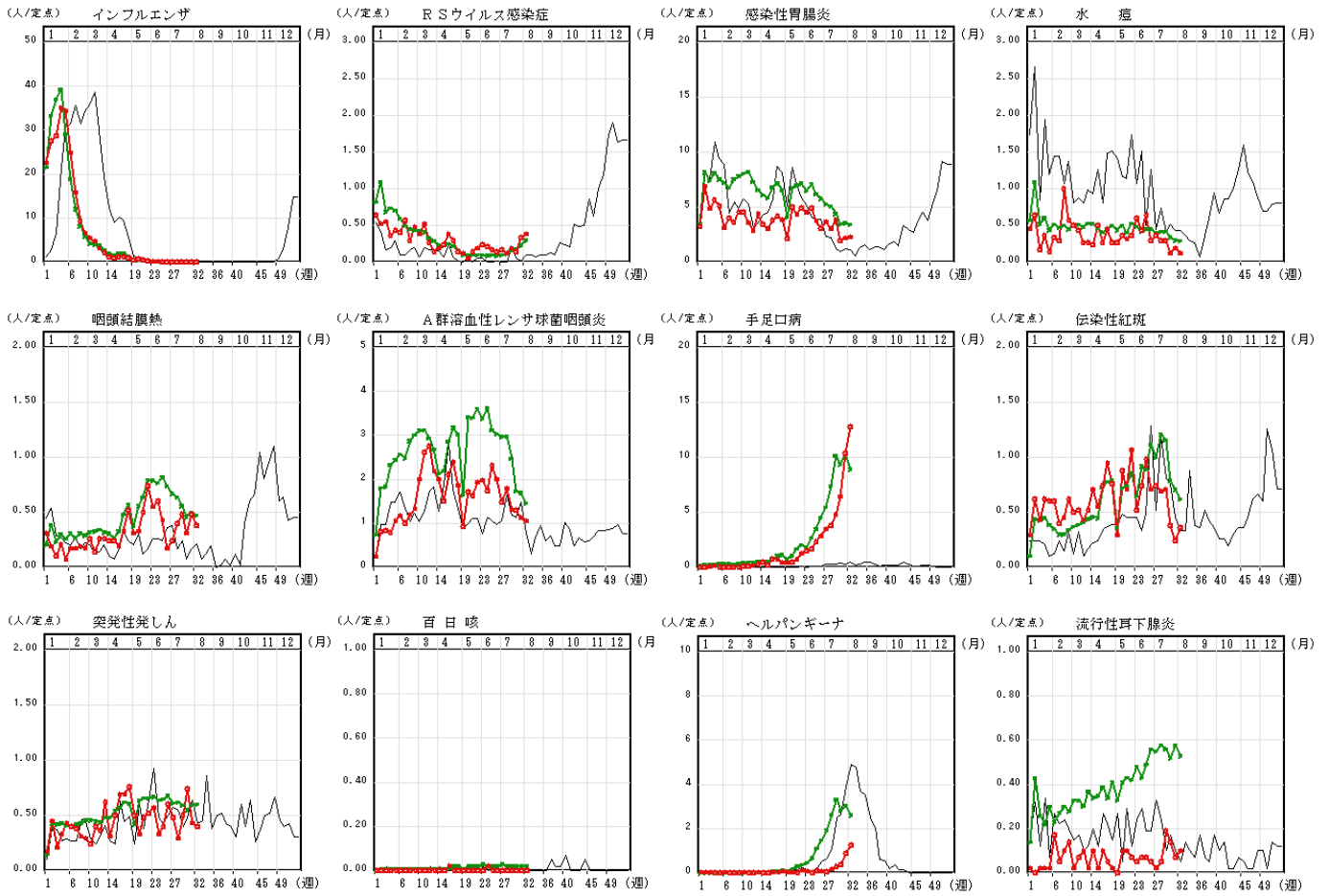
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキ/コックス症	オウム病	回腸熱	コガゾイチス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングエフ熱	つつが虫病	Dengue熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マリアア	野兔病	ライム病	レジオネラ症
累積報告数	14082	3	89	1720	22	23	117	164	8	5	2	2	33	11	71	137	88	4	23	1	4	858
分類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レブスピアラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クリプトスピリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性リンパ球感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クラブコックス症	破傷風	パノマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症		
累積報告数	7	641	146	811	311	9	103	272	820	40	149	20	1498	190	1350	69	59	36	113	26	19	

青森県 (2015年第1週～第33週累計)

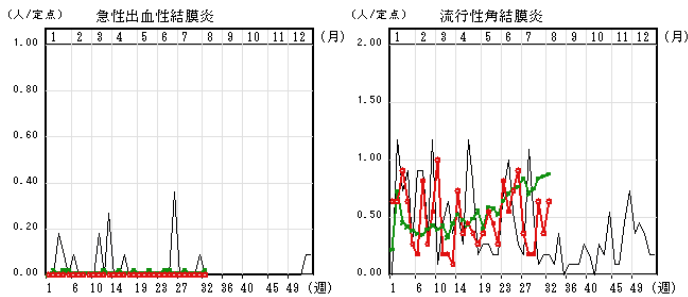
分類	二類	三類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	細菌性赤痢	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルトヤコブ病	後天性免疫不全症候群	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	破傷風					
累積報告数	188	41	1	8	1	6	1	11	2	1	2	2	13	2	5	1					

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2015年第32週)

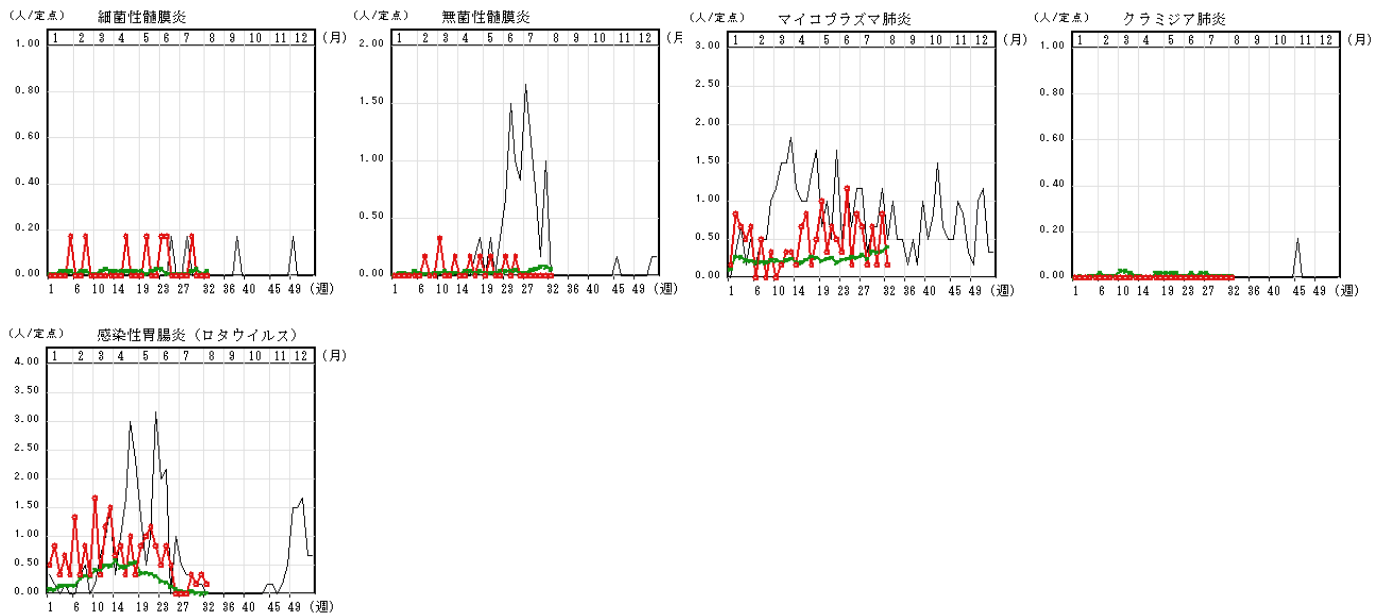
グラフの説明 ○—○は2015年青森県、——は2014年青森県、×—×は2015年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2015年第32週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2015年第32週)



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第33週は報告がありませんでした。

平成27年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月			計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-30週	31週	32週	33週	
介護・老人福祉関係施設	件数	7	5	1	0	2	0	0	0	0	0	15
	発症者数	107	94	47	0	27	0	0	0	0	0	275
児童・婦人関係施設等	件数	3	0	1	1	0	1	1	0	0	0	7
	発症者数	61	0	5	19	0	14	28	0	0	0	127
障害関係施設	件数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
	発症者数	0	0	10	0	0	16	0	0	0	0	26
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	10	5	3	1	2	2	1	0	0	0	24
	発症者数	168	94	62	19	27	30	28	0	0	0	428